

再 評 価 調 書

I 事業概要							
事業名	河川事業						
地区名	二級河川 ^{しなのがわ} 信濃川水系						
事業箇所	東海市、知多市						
事業の あらまし	<p>信濃川は、その源を知多市中部の標高 60m 程度の丘陵地に位置する^{そぶり}佐布里池に発し、知多市にしの台やつつじが丘の市街地を左岸側にして流れ、東海市養父町において、右支川^{よこすめ}横須賀新川と合流し、伊勢湾に注ぐ、河川延長約 5.9km、流域面積約 12.0 km²の二級河川である。</p> <p>当該流域では、過去に 1953 年 9 月の台風 13 号、1959 年 9 月の伊勢湾台風、1974 年 7 月の豪雨、2000 年 9 月の東海豪雨、2009 年 10 月の台風 18 号による浸水被害を受けている。</p> <p>このため、2005 年 8 月に二級河川信濃川水系河川整備計画を作成し、信濃川樋門下流から新阿原橋までの約 2.9km を工事対象区間とし、河道拡幅や掘削、橋梁改築による流下断面の拡大を実施し、治水安全度の向上を図っている。</p>						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 河川改修等による治水安全度の向上</p> <p>年超過確率 1/5 の規模の降雨（24 時間雨量 164mm）を安全に流下させることを目標とする。</p>						
計画変更 の推移		事前評価時 (2005)	再評価時 (2011)	再評価時 (2 回目) (2016)	再評価時 (3 回目) (2021)	変動要因の分析	
	事業期間	2005～2034	2005～2034	2005～2034	2005～2034	変更なし	
	事業費（億円）	33.9	33.9	33.9	33.9	変更なし	
	経費 内訳	工事費	17.6	17.6	17.6	17.6	変更なし
		用補費	14.7	14.7	14.7	14.7	変更なし
その他		1.6	1.6	1.6	1.6	変更なし	
事業内容	高潮堤整備 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築 事業延長 L=約 2.9km	高潮堤整備 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築 事業延長 L=約 2.9km	高潮堤整備 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築 事業延長 L=約 2.9km	高潮堤整備 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築 事業延長 L=約 2.9km	高潮堤整備 河道拡幅 河床掘削 護岸整備 橋梁改築 事業延長 L=約 2.9km	変更なし	
II 評価							

1) 必要性
の変化

【事前評価時の状況】

信濃川水系では、高潮対策として伊勢湾台風（1959.9）を契機とした信濃川樋門の整備や護岸整備が実施された。

しかし、その後の都市化の進展に伴う流出量の増大もあり、東海豪雨（2000.9）では甚大な浸水被害が発生した。

このため、2005年には今後の整備内容を定めた「二級河川信濃川水系河川整備計画」を作成し、治水対策を実施することとした。

表1 主な浸水実績

洪水 年月日	異常 気象名	観測所	時間最大 雨量 (mm)	総雨量 (mm)	床下 浸水 (戸)	床上 浸水 (戸)	浸水 面積 (ha)
1953.9.25 ～9.26	台風13号	---	---	---	1,032	289	不明
1959.9.26 ～9.27	伊勢湾 台風	名古屋地方気 象台（名古屋市 千種区日和町）	21	70	233	254	不明
1974.7.24 ～7.25	豪雨	知多市消防本 部（知多市新 知字西新生）	94※ ¹	161	963	457	406
2000.9.11 ～9.12	東海豪雨	知多市消防署 東部出張所（知 多市八幡字南 大平地）	79	582	314	105	90
2009.10.5 ～10.9	台風18号	愛知用水水道 南部事務所（東 海市大田町下 浜田）	86	199	174	70	11

（注）浸水戸数・面積は知多市の被害を表す。 ※¹ 3時間雨量を表す。

（出典）台風13号：知多市資料

伊勢湾台風：伊勢湾台風災害復興誌、知多市資料

1974年豪雨：知多市資料

東海豪雨：知多市資料

台風18号：都道府県水害統計

【再評価時（3回目）の状況】

2009年の台風18号により、床上浸水70戸、床下浸水174戸の被害が発生しており、浸水の危険性は事前評価時点から大きく変化していないと考えられる。

【変動要因の分析】

2005年から2019年にかけて、知多市の人口は0.6%増加し、世帯数は14.5%増加した。また、知多市全体の土地利用は、2005年から2019年にかけて、宅地は4.9%増加し、農地は13.4%減少している。（信濃川流域に対する知多市全体の面積比率は21.8%）

2005年から2019年にかけて、東海市の人口は9.0%増加し、世帯数は21.3%増加した。また、東海市全体の土地利用は、2005年から2019年にかけて、宅地は6.4%増加、農地は16.5%減少している。（信濃川流域に対する東海市全体の面積比率は5.3%）

判定	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																																										
	<p>【理由】</p> <p>流域内の宅地面積等が増加しているが変化は僅かであり、事前評価時に比べ必要性にほとんど変化はない。</p>																																																																																																																																										
1) 進捗状況	<p align="center">表2 事業計画及び工事実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程区分</th> <th rowspan="2">2005 ～ 2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026 ～ 2034</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高潮堤防の整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・河道拡幅</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・河床掘削</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・護岸整備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>・橋梁改築</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>事業費※ (億円)</td> <td>前回計画</td> <td>4.16</td> <td colspan="3">7.8</td> <td colspan="3">7.8</td> <td colspan="3">14.1</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4.16</td> <td colspan="3">4.3</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>4.16</td> <td colspan="3">4.3</td> <td colspan="3">9.1</td> <td colspan="3">16.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、過去については5カ年毎の計画と実績、今後5カ年分の計画事業費と、それ以降の残事業費を記載。</p>	工程区分	2005 ～ 2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026 ～ 2034	用地補償	←											→	工事													・高潮堤防の整備							←					→	・河道拡幅						←						→	・河床掘削							←					→	・護岸整備						←						→	・橋梁改築	←											→	事業費※ (億円)	前回計画	4.16	7.8			7.8			14.1			実績	4.16	4.3									今回計画	4.16	4.3			9.1			16.3		
	工程区分			2005 ～ 2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026 ～ 2034																																																																																																																												
		用地補償	←												→																																																																																																																												
	工事																																																																																																																																										
	・高潮堤防の整備							←					→																																																																																																																														
	・河道拡幅						←						→																																																																																																																														
	・河床掘削							←					→																																																																																																																														
	・護岸整備						←						→																																																																																																																														
	・橋梁改築	←											→																																																																																																																														
	事業費※ (億円)	前回計画	4.16	7.8			7.8			14.1																																																																																																																																	
	実績	4.16	4.3																																																																																																																																								
	今回計画	4.16	4.3			9.1			16.3																																																																																																																																		
	<p align="center">表3 事業進捗率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程区分</th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長 (km)</td> <td>1.1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2.9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費 (億円)</td> <td>12.0</td> <td>8.4</td> <td>70</td> <td>33.9</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>6.2</td> <td>2.0</td> <td>32</td> <td>17.6</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>5.2</td> <td>3.0</td> <td>57</td> <td>14.7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.6</td> <td>3.4</td> <td>567</td> <td>1.6</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table> <p>信濃川水系では、国道信濃橋の改築において、迂回路用地確保の難航により、当初の想定よりも期間を要してしまった。このことにより事業進捗が遅れたため、これまでの実績額8.4億円は、全体の25%程度である。</p>	工程区分	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長 (km)	1.1	0	0	2.9	0	事業費 (億円)	12.0	8.4	70	33.9	25	工事費	6.2	2.0	32	17.6	11	用補費	5.2	3.0	57	14.7	20	その他	0.6	3.4	567	1.6	213																																																																																																	
	工程区分		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																					
		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																					
延長 (km)	1.1	0	0	2.9	0																																																																																																																																						
事業費 (億円)	12.0	8.4	70	33.9	25																																																																																																																																						
工事費	6.2	2.0	32	17.6	11																																																																																																																																						
用補費	5.2	3.0	57	14.7	20																																																																																																																																						
その他	0.6	3.4	567	1.6	213																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程区分</th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛土 (m3)</td> <td>4,394</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>23,881</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>浚渫・土砂掘削 (m3)</td> <td>18,944</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>102,962</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ブロック積護岸 (m2)</td> <td>5,212</td> <td>425</td> <td>8</td> <td>28,327</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>矢板 (m)</td> <td>769</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,177</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>波返工 (m)</td> <td>760</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,128</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>樋門撤去 (基)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>道路橋 (橋)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>用地 (m2)</td> <td>10,653</td> <td>729</td> <td>7</td> <td>30,114</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	工程区分	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	盛土 (m3)	4,394	0	0	23,881	0	浚渫・土砂掘削 (m3)	18,944	0	0	102,962	0	ブロック積護岸 (m2)	5,212	425	8	28,327	2	矢板 (m)	769	0	0	4,177	0	波返工 (m)	760	0	0	4,128	0	樋門撤去 (基)	0	0	-	1	0	道路橋 (橋)	1	0	0	8	0	用地 (m2)	10,653	729	7	30,114	2																																																																																
工程区分		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																						
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																						
盛土 (m3)	4,394	0	0	23,881	0																																																																																																																																						
浚渫・土砂掘削 (m3)	18,944	0	0	102,962	0																																																																																																																																						
ブロック積護岸 (m2)	5,212	425	8	28,327	2																																																																																																																																						
矢板 (m)	769	0	0	4,177	0																																																																																																																																						
波返工 (m)	760	0	0	4,128	0																																																																																																																																						
樋門撤去 (基)	0	0	-	1	0																																																																																																																																						
道路橋 (橋)	1	0	0	8	0																																																																																																																																						
用地 (m2)	10,653	729	7	30,114	2																																																																																																																																						

②事業の進捗状況及び見込み

【事後評価に準ずるフォローアップ】

■水位低減効果

・現在までの事業は用地取得のみであるため、水位低減効果は見られない。そのため、事業進捗に伴う具体的な効果は、現時点では発現されていない状況である。

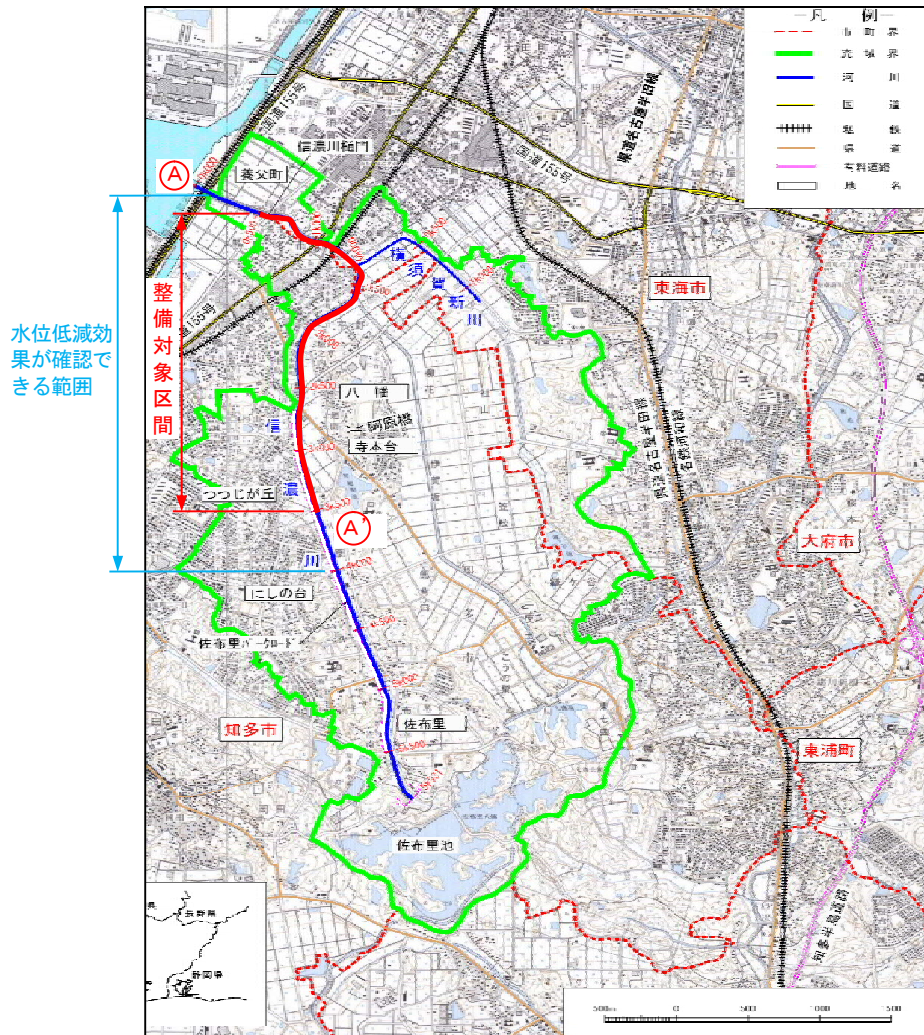
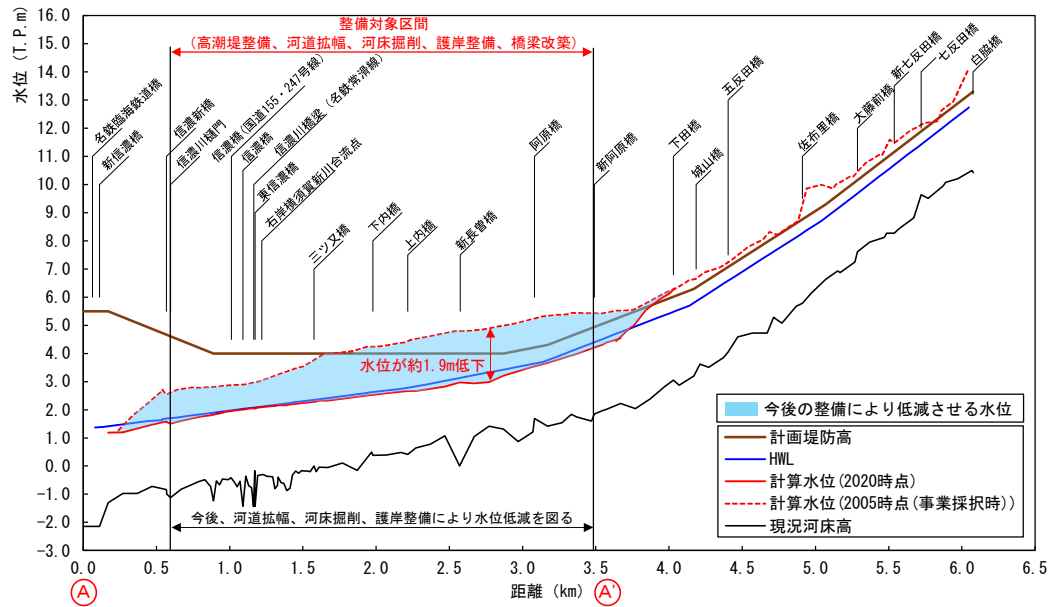


図1 水位低減効果図

	2) 未着手又は長期化の理由	橋梁改築における借地交渉が難航していた。																																																																																																			
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 国難航していた橋梁改築における借地交渉がまとまり、事業に着手していることから、計画通り 2034 年度に完了する見込みである。</p>																																																																																																			
	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 難航していた橋梁改築の借地交渉がまとまり、その他支障となるものは確認されていないため、計画通りの完了が見込まれる。なお、今後も社会情勢の変化等を考慮しながら必要に応じて計画の見直しを行う。</p>																																																																																																			
事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】 ・変化なし。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】 ・本事業の全体事業に対する費用便益比は 16.4 (>1) であり、事業効果が期待できる。</p> <p>表 4 費用便益分析表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事前評価時 (基準年: 2005)</th> <th>再評価時 (基準年: 2011)</th> <th>再評価時 (2 回目) (基準年: 2016)</th> <th>再評価時 (3 回目) (基準年: 2021)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">費用 (億円)</td> <td>事業費（建設費）</td> <td>20.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残存価値</td> <td>0.6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (C)</td> <td>22.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">効果 (億円)</td> <td>一般資産被害額</td> <td>127.7</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農作物被害額</td> <td>1.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公共土木施設等被害額</td> <td>216.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>間接被害額</td> <td>17.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 (B)</td> <td>362.7</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(参考) 算定 要因</td> <td>浸水面積 (ha)</td> <td>179.85</td> <td>179.85</td> <td>179.85</td> <td>179.85</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>宅地面積 (ha)</td> <td>63.55</td> <td>78.05</td> <td>74.36</td> <td>77.53</td> <td>+22.0%</td> </tr> <tr> <td>農地面積 (ha)</td> <td>99.94</td> <td>87.55</td> <td>87.02</td> <td>83.86</td> <td>-16.1%</td> </tr> <tr> <td>人口 (人)</td> <td>4,346</td> <td>4,542</td> <td>4,542</td> <td>4,153</td> <td>-4.4%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果 (B/C)</td> <td>16.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。 ※算定要因の数値は、国土数値情報土地利用メッシュ（国土交通省国土計画局）および100mメッシュ延床面積データに基づく。 ※再評価における費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原</p>					区分		事前評価時 (基準年: 2005)	再評価時 (基準年: 2011)	再評価時 (2 回目) (基準年: 2016)	再評価時 (3 回目) (基準年: 2021)	備考	費用 (億円)	事業費（建設費）	20.3	—	—	—		維持管理費	2.5	—	—	—		残存価値	0.6	—	—	—		合計 (C)	22.2	—	—	—		効果 (億円)	一般資産被害額	127.7	—	—	—		農作物被害額	1.4	—	—	—		公共土木施設等被害額	216.2	—	—	—		間接被害額	17.4	—	—	—		合計 (B)	362.7	—	—	—		(参考) 算定 要因	浸水面積 (ha)	179.85	179.85	179.85	179.85	—	宅地面積 (ha)	63.55	78.05	74.36	77.53	+22.0%	農地面積 (ha)	99.94	87.55	87.02	83.86	-16.1%	人口 (人)	4,346	4,542	4,542	4,153	-4.4%	費用対効果分析結果 (B/C)		16.4	—	—	—	
	区分		事前評価時 (基準年: 2005)	再評価時 (基準年: 2011)	再評価時 (2 回目) (基準年: 2016)	再評価時 (3 回目) (基準年: 2021)	備考																																																																																														
費用 (億円)	事業費（建設費）	20.3	—	—	—																																																																																																
	維持管理費	2.5	—	—	—																																																																																																
	残存価値	0.6	—	—	—																																																																																																
	合計 (C)	22.2	—	—	—																																																																																																
効果 (億円)	一般資産被害額	127.7	—	—	—																																																																																																
	農作物被害額	1.4	—	—	—																																																																																																
	公共土木施設等被害額	216.2	—	—	—																																																																																																
	間接被害額	17.4	—	—	—																																																																																																
	合計 (B)	362.7	—	—	—																																																																																																
	(参考) 算定 要因	浸水面積 (ha)	179.85	179.85	179.85	179.85	—																																																																																														
		宅地面積 (ha)	63.55	78.05	74.36	77.53	+22.0%																																																																																														
農地面積 (ha)		99.94	87.55	87.02	83.86	-16.1%																																																																																															
人口 (人)		4,346	4,542	4,542	4,153	-4.4%																																																																																															
費用対効果分析結果 (B/C)		16.4	—	—	—																																																																																																

	<p>則として、事前評価時（前回評価時）と比べ、その要因が3割を超えて変化している場合、または費用対効果分析結果が1未満になる恐れがある場合に実施するものとするされており、今回評価では算定していない。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水経済調査マニュアル（案）（国土交通省河川局 2005.4） <p>河川事業は、主に豪雨等による洪水あるいは台風時の高潮等による被害軽減及び防止を目的とした事業であり、河川改修等を実施することで解消・軽減できる被害額を便益とし、それに要する費用とを比較してを求めている。事業採択にあたっては、値が1以上であることを要件としている。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果分析の算定基礎となった要因に大きな変動はない。 				
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>【前回評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に変化はない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 				
判定	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">A</td> <td> <p>○A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【理由】</p> <p>算定要因に大きな変動がないため、事前着手時と同様の事業効果が発現される見通しである。</p> </td> </tr> </table>	A	<p>○A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>	<p>【理由】</p> <p>算定要因に大きな変動がないため、事前着手時と同様の事業効果が発現される見通しである。</p>	
A	<p>○A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>				
<p>【理由】</p> <p>算定要因に大きな変動がないため、事前着手時と同様の事業効果が発現される見通しである。</p>					
III 対応方針					
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>				
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容					
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>・－</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業後の河川水位や浸水の規模等 <p>※事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合には、同期間の最大規模の降雨により評価する。</p> <p>※事業後の河川水位の低下や浸水の規模・発生頻度の減少などを検討し、事業効果の評価を行う。</p>					
V 事業評価監視委員会の意見					
<p>二級河川信濃川水系の対応方針（案）[事業継続]を了承する。</p>					
VI 対応方針					
<p>事業継続</p>					